

健康ウオツチング

東陽病院 院長 伊藤 文憲

大腸の病気(Ⅲ)

横芝町の皆さん今日は。今

回は大腸の良性の慢性の病気の話です。臨床症状の軽い大腸機能異常から治療に難渋する炎症性腸疾患まで多彩です。大腸機能異常とは注腸X線検査や大腸の内視鏡検査により大腸の粘膜面には何ら病変が認められず、内腔の狭窄・拡張等もなく且つ腹痛や便秘と下痢を繰り返す病気で

す。近年この疾患が増加しています。リストラや家庭内のストレスが誘因と考えられており、治療に抵抗する例が多く見られています。この疾患の代表として過敏性大腸炎(過敏性腸症候群)があります。大腸は正常では生理的な蠕動運動により内容を小腸から直腸に送り、その途中で水分の吸収を行っています。その機能がうまく働かないと便秘や下痢を繰り返す様になります。その時の症状に応じた対症療法では逆効

ル困難になり大量の下血が起こり外科的な大腸切除が行われています。

果になることもあります。最近ではストレスに対する安定剤の投与と大腸の動きを調整する薬の併用が有効です。

難治性の大腸炎には潰瘍性大腸炎とクローン病があります。潰瘍性大腸炎は粘膜の病変が主体で、しばしば潰瘍を形成する大腸の炎症性疾患です。直腸を初発として進行すると大腸全体に広がります。約7万人が罹患しています。原因は不明ですが、何らかの大腸局所の免疫異常が関与するとされています。

慢性的の粘血便を主訴とし、腹痛が続き摂食不良となり栄養障害を引き起こします。治療として栄養療法(クローン病で述べます)と副腎皮質ホルモンや抗菌薬のサラゾピリンにより一時的な緩解状態にすることが可能ですが、徐々に進行し再発を繰り返し、免疫抑制剤の使用や重症例では血球成分除去療法などが行われることもあります。また約3%に粘膜出血がコントロ

もう一つの難治性腸疾患はクローン病です。約1万9千人が罹患しています。潰瘍性大腸炎が直腸から徐々に進行するのに対してクローン病は大腸内の離れた位置に病変が散在するのが特徴です。小腸や食道などにも発症します。

粘膜面だけではなく筋肉層にも炎症が波及し、内部を狭窄して通過障害を起こし強い腹痛が起こります。出血はやや少ないようです。本疾患も腸管粘膜の免疫異常が原因と考えられています。

治療法として通常の食事では増悪を繰り返す場合には、栄養療法として消化された栄養物の経口摂取が行われま

文芸

俳句

平成の田植は役者ただひとり
遠からじ合併の声東風にのり

「ありがとう」母の日贈る言葉だけ
ちらしずし母に作らせ母祝う
桑名 大行

母の日や嫁より赤花を胸熟し
母の日や母となる日を姑に告げ
長谷川理正

デパートの茶店に新茶幟り立つ
母の日や母と歩きし瀬戸の浜
今関マキ子

新茶汲む母のぬくもり手に受けて
母の日や歌舞伎鑑賞招かれし
小林 順子

新茶買ふすすめ上手の試飲かな
新緑や並ぶ石仏眉目やさし
福田 幸子

甘諸植えに願ってもなき五月雨
新緑や病む身のうさも忘れさせ
藤代 ゆう

「走り茶はまたか」と父のちびり酒
母の日の夜空さがすや母の星
若梅あやめ
山口 一秋

短歌

我が家では害虫と嘆く蝸牛
姪の子供等喜び捕ふ
田崎 尚美

立ち上る人待ち椅子に腰をかけ
咲きの盛りの桜見てあつ
吉岡 信子

咲き盛る桜乱して風過ぎぬ
湖面にひととき花びら散らし
萩原 信一

畳紙に包まれしまま妻の着物
仕舞はれ続く主を亡くし
永藤 滋

入りゆくを拒ばみあるがにひんやりと
朝の厨の鎮もりてあつ
八角 三枝

若生ふる岩のくばみを一条の
清水流るる羊歯ぬらしつ
佐瀬 初音

山桜の枝先はつか色を帯び
咲く気配見す緑のあひに
秋葉 悦子

城跡に咲き盛りある白梅は
古しへ人の息の色かも
宇井 ちい

五十肩に苦しんだりしが八十路いま
再び痛み老いの追い打ち
鈴木 やす

光圀公が飯高に植えし黄門桜
二百年を花の咲きつぐ
押尾 輝子

亡き夫の十八番でありし出船の港
今朝はラジオに流れあるなり
池田 春江

バス停の「桜前」をば迂回して
花見て帰らむ桜の季節
西山満里子

三百年生きし桜の静けさが
吾を包めり花咲き満ちて
斎藤つね子

